

## コラム：ダムがあるのになぜ水不足になるのか



羽鳥ダムの有効貯水量  
約 2,600 万トン



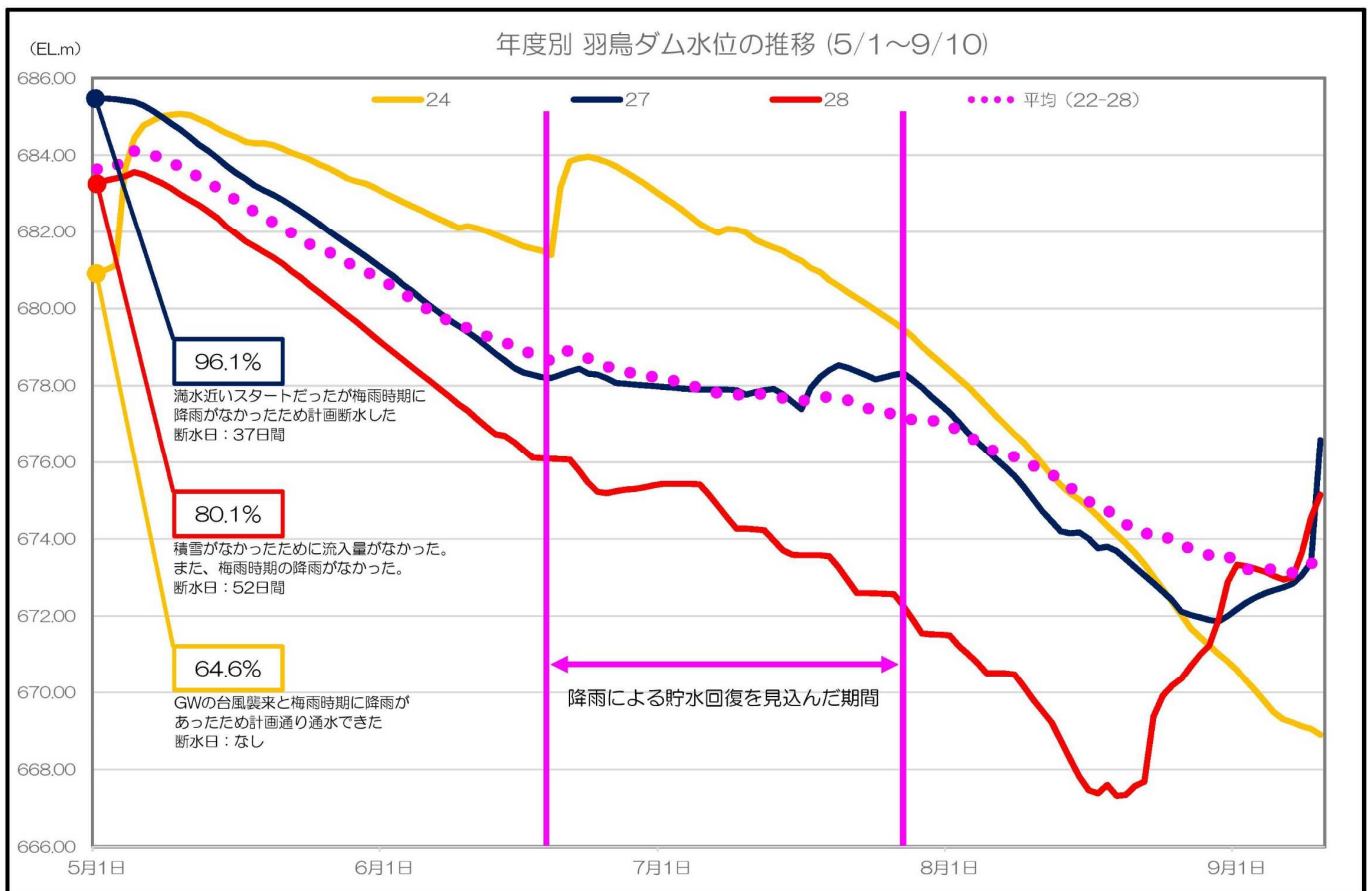
矢吹原管内で必要な年間水量  
約 3,400 万トン

差引

約△800 万トン

この不足分は  
どうやって補うのか？

答え **梅雨時期の雨**



羽鳥ダムの水計画は本来、梅雨時期の降雨によって通水期間中に約 800 万トンを回復することを計画しています。平成 24 年度のように満水にならなくとも降雨があれば十分な通水が可能であり、逆に平成 27 年度のようにほぼ満水でも降雨がなければ水不足に陥る危険性があります。平成 28 年度は降雨による回復が全くなかったため渇水となってしまいました。この水計画は国営事業実施当時から不変のものであり、水不足の主な原因は近年の異常気象です。自然現象であるため、現状では節水や計画的な断水を行うことが最も有効な渇水対策となります。限りある羽鳥ダムの水を有効に活用するために用水配分に最大限のご協力をお願いします。